


高萩市(たかはぎし)

	〒 318-8511 〈住所〉高萩市本町一丁目100番地1 〈TEL〉0293-23-2111 〈FAX〉0293-24-0636 〈HP〉http://www.city.takahagi.ibaraki.jp 〈e-mail〉soumu@city.takahagi.lg.jp	地域指定 辺地(一部区域) 山振(一部区域) 特定農山村	一部事務組合加入事業 退職手当 消防賞しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 公共下水道 工業用水道 農業共済	公営企業 法適用(上水 工水)
	類型 I-1 地方公共団体コード 082147 面積 193.58 km ²			

<行政組織>

①長等(平成27年5月1日現在)

長	おだぎ まさよ 小田木 真代 (52歳)	任期	平成30年3月1日
		就任回数	1 期目
副市長	泉 幸一		

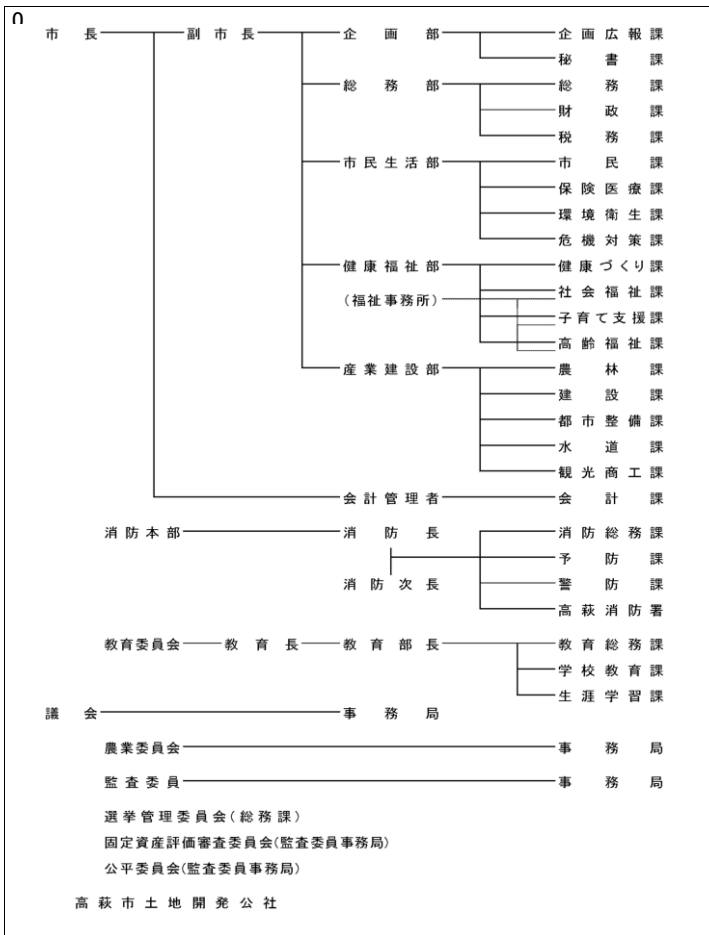
②議会(平成27年5月1日現在)

議長	吉川 道隆	副議長	大足 光司
任期	平成27年11月22日	条例定数	16 人
		現議員数	16 人
党派別	公明2人、民主1人、共産1人、無所属12人		

③職員数(平成26年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
313	283	176	30
一般行政職の平均給料月額	3,209 百円	ラスパイレス指数 96.5	地域手当補正後ラス指数 96.5
全職員数の推移	平成23年4月1日	平成24年4月1日	平成25年4月1日
	310	310	313

④機構図(平成27年4月1日現在)



<概要>

①沿革

昭和29年11月23日	市制施行	
昭和32年07月1日	境界変更	北茨城市の一部
昭和63年06月1日	境界変更	北茨城市の一部
平成10年10月1日	境界変更	北茨城市の一部

②地勢・風土等

茨城県の北東部に位置し、東は大平洋に面し、西は多賀山地が連なり、その間を花貫川と関根川が流れて溪谷をつくっており、これらの海や山の自然景観は県の自然公園に指定されている。

また、北部は福島県東白川郡疇町と茨城県北茨城市に接している。東京からは約150kmで、常磐自動車道を利用して約2時間の距離に位置する。

市域の総面積は193.58km²。県土の3.2%を占める。市域の約85%が山林原野等で、農耕地面積は1,068ha。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成27年4月1日)	
	平成12年	平成17年	平成22年		
人口	男	17,046	16,113	15,161	14,295
	女	17,556	16,819	15,856	14,971
	合計	34,602	32,932	31,017	29,266
世帯数	11,820	11,721	11,661	11,713	

④平成27年3月2日現在登録者数(人)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 29.0 %
	12,470	12,954	25,424	

<産業・経済>

①生産・所得(平成24年度)

市町村内総生産	1,256 億円	就業者1人当り	9,565 千円
住民所得	888 億円	人口1人当り	2,937 千円

②産業構造

区分	総生産額(平成24年度)		就業人口(平成22年国調)	
第1次	917	0.7 %	583	4.1 %
第2次	58,092	46.0 %	5,496	38.8 %
第3次	66,039	52.6 %	7,894	55.8 %
総額・総数	125,618	—	14,159	—

③農業・工業・商業

農業	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
(平成22年2月1日)	783	142	704
製造業	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H25.1.1~12.31)
(平成25年12月31日)	61	3,171	109,312
卸・小売業	事業所数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
(平成24年2月1日)	325	2,250	36,882

④特産物

高戸味噌、つるつき高萩いちご、翁杉ボールペン・シャーペン・万年筆、翁杉ストリップ、八千代おこし、高萩せんべい、愛娘みそ、めしどろぼうさん、宝来納豆ふるさと自慢、はぎまるクッキー、花貫ゆず味噌、はぎまるワッフル、花貫フルレーズ、花貫大黒ぼん、花貫大黒あんぱん

＜財政状況＞

①決算収支

(千円・%)

区分	平成24年度決算	平成25年度決算	増減率
歳入	17,663,174	13,531,045	△ 23.4
歳出	16,575,742	12,744,323	△ 23.1
形式収支	1,087,432	786,722	-
実質収支	575,183	551,096	-
単年度収支	97,108	△ 24,087	-
実質単年度収支	590,981	59,463	-

④市町村税の状況(平成25年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	1,435,867 (32.6)	1,335,925 (32.3)	93.0 [91.5]
市町村民税・法人 (構成比)	396,580 (9.0)	394,304 (9.5)	99.4 [98.1]
固定資産税 (構成比)	1,919,004 (43.5)	1,772,845 (42.9)	92.4 [91.3]
市町村税合計 (国保除く)	4,410,486	4,130,073	93.6 [92.4]

②主な歳入・歳出(平成25年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	13,531	-	△ 4,132	△ 23.4
地方税	4,130	30.5	△ 88	△ 2.1
地方交付税	2,841	21.0	△ 412	△ 12.7
国庫支出金	1,787	13.2	△ 2,312	△ 56.4
地方債	1,088	8.0	17	1.6
うち臨財債費	630	4.7	-	-
その他	3,685	27.3	-	-
うち繰入金	450	3.3	-	-
歳出	12,744	-	△ 3,832	△ 23.1
義務的経費	6,382	50.1	△ 372	△ 5.5
人件費	2,588	20.3	12	0.5
扶助費	2,039	16.0	15	0.7
公債費	1,755	13.8	△ 399	△ 18.5
投資的経費	1,567	12.3	-	-
普通建設事業費	1,453	11.4	434	42.6
うち補助	752	5.9	324	75.7
うち単独	685	5.4	117	20.6
その他の経費	4,795	37.6	-	-
うち繰出金	1,841	14.4	-	-

③主要指標(平成25年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (13.92)
連結実質赤字比率	- % (18.92)
実質公債費比率	17.2 % (25.0) [9.0]
将来負担比率	120.4 % (350.0) [42.9]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成24年度～平成26年度)	0.588	[0.696]
経常収支比率	98.7 %	[88.2]
標準財政規模(平成26年度)	7,249 百万円	[15,097]
地方債現在高(A)	15,956 百万円	[23,121]
債務負担行為支出予定額(B)	1,200 百万円	[2,998]
積立金現在高(C)	4,084 百万円	[7,686]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	13,072 百万円	[18,433]

※1 ()は早期健全化基準, []は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

＜公共施設整備状況＞(平成25年度) ※1は平成26年度

小学校 ※1	5 校	プール	0 か所
中学校 ※1	4 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	4 園	老人福祉施設	13 か所
保育所 ※1	5 か所	病院・一般診療所	23 か所
図書館	1 か所	道路改良率	47.7 %
公営住宅	671 戸	道路舗装率	57.2 %
公民館等	3 か所	上水道等普及率	97.4 %
体育館	1 か所	汚水処理普及率	91.5 %

＜主要施策等＞

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
公共施設誘導サイン設置経費	H27	観光施設等へ利用者を誘導・案内するためのサインを整備する	12
公営住宅避難設備整備事業	H25～H27	市営高浜住宅避難用外階段を整備する	385
君田小・中学校校舎耐震補強・改修事業	H26～H27	老朽化した校舎の耐震補強・改修工事	288
特定不妊治療費助成経費	H27	不妊治療を受けている夫婦に治療にかかる費用の一部を助成する	2
農産物特産品開発支援経費	H27	特産品の開発に向けた生産体制の確立や販路開発、商品開発研究等に要する経費を支援する	4

②今後の主要課題・特色ある行政等

＜主要課題＞

- ・少子化対策＝定住人口の確保
- ・東日本大震災復旧復興に向けた対応
- ・企業誘致の推進
- ・行財政健全化施策の推進

＜特色ある行政＞

活力に溢れる、安全・安心な地域社会の構築

・「少子化対策」

- ⇒①出会い・結婚：ハッピーサポート(出会いの場創出)事業、新婚世帯家賃助成
- ②妊娠・出産：出産祝品購入費助成、特定不妊治療費助成
- ③子育て：健康・子育て安心ダイヤル、新入学児支援 等

・「安全な街づくり」

⇒急傾斜地整備事業、トンネル照明器具整備事業 等

・「安心な街づくり」

⇒放課後児童クラブ時間延長、医療福祉(市単独分)給付 等

・「活力ある街づくり」

⇒農産物特産品開発、高萩スカウトフィールド支援 等